

イネいもち病（葉いもち）情報第2号

令和5年7月18日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

7月上旬の葉いもち発生量は過去10年間で最も多い！

1 発生状況

7月上旬の巡回調査において、発病株率は0.84%（平年0.18%、前年0.47%）、発生ほ場率は10.77%（平年3.64%、前年7.09%）でともに過去10年と比較して最も高い状況です。特に西尾市、豊橋市で発病株率が高いほ場を確認しています。

2 葉いもち感染好適日の出現状況

7月14日に稲武で感染好適日となりました（表）。また、7月13日から14日にかけて、複数地点で準好適条件が発生しています。

3 今後の見込み

平均気温が15～25℃で葉面湿潤状態が長時間続くことにより、いもち病の発病好適条件となります。

名古屋地方气象台7月13日発表の1か月予報によれば、平年と同様に晴れの日が多く、気温も高い見込みです。しかし、葉いもちの発生ほ場率が高いため、今後の気象条件によっては発生量が増える可能性があります。特に、葉いもちが上位葉で発生している場合、穂いもちに移行するおそれがあるので注意しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（7月3日～17日）

日付	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/6	-	-	2	1	②	2	-	1	-	4	④
7/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/8	-	-	-	③	-	2	-	1	③	9	-
7/9	5	-	③	5	③	-	-	3	-	-	2
7/10	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
7/11	②	1	-	-	3	②	③	1	-	-	3
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/13	②	②	②	4	②	-	4	1	4	9	8
7/14	3	②	②	②	②	②	-	-	③	-	●
7/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

-：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）